

2025年度事業報告

I 概要

本財団は、NPO等の民間公益活動に対して、資金支援や人材育成支援等を行うことを目的に2018年2月15日に設立し、中部圏の社会課題解決に取り組む民間公益活動を支援してきた。2025年度においても、休眠預金等活用法における資金分配団体の活動や、寄付金及び受託収入を活用し、様々な課題解決に取り組むNPO等に対し資金支援を行うとともに、活動を伴走支援した。

また本財団は、2025年10月16日には公益認定申請を行い、内閣府認定委員会事務局との調整・補正を経て、2025年11月26日付で内閣総理大臣から公益財団法人の認定を受けた。

2025年度は一般財団法人から公益財団法人への移行期である。

II 事業の実施状況

1 一般財団法人としての事業（2025年4月1日から 2025年11月25日まで）

(1) 困難を抱える人・地域への支援

① 地域コミュニティの発展事業

2023年度から2026年度までの助成金により実施する休眠預金活用_草の根活動2023「地方都市・農山村におけるコミュニティの持続発展事業」について、本年度も3チーム11団体に対し助成金を交付するとともに、3年間の中間年となる本年度は、「中間評価」作成支援など各チーム活動の本格的推進を伴走支援した。

休眠預金助成金： 25,546,565円

実行団体・・・3チーム、計11団体

実行団体名	所在地	事業名	助成額
NPO法人 えんまる 現1) (社福) 湖会 現2) (N) 信濃あすなろ会	長野県 長野市	コミュニティプラット フォームよるつながり 支援事業	8,546,219円
認定NPO法人 人と動物の共生センター 現1) (一社) 岐阜県動物愛護ネットワーク会議 現2) (一社) サステイナブル・サポート 現3) (N) 出逢いの森 現4) (N) はみんぐアニマル	岐阜県内	生活困窮者ペット飼育 問題を支える、コミュ ニティプラットフォー ム	5,006,000円
NPO法人飛騨高山わらべうたの会 現1) (株) HIDA NET 現2) おやおやの会	岐阜県 高山市 飛騨市 下呂市 白川村	誰一人取り残さない！ オール飛騨で地域ぐる みの子育て支援環境 を！	4,240,000円

(第1号議案)

② 子ども/若者など社会的弱者への支援事業

2024年度から2027年度までの助成金により実施する休眠預金活用_草の根活動2024「子ども/若者の居場所機能強化事業」について、本年度は、昨年度末に選定した5つの民間公益活動団体と資金提供契約を締結し、各団体に対し助成金を交付するとともに、事業の本格的始動を伴走支援した。

休眠預金助成金：41,168,595 円

実行団体・・・5団体

実行団体名	所在地	事業名	助成額
学校法人ムンド・デ・アレグリア学校	静岡県 浜松市	スポーツで心と体の居場所作り	5,974,150円
NPO法人リネーブル・若者セーフティネット	愛知県 安城市	若者が安心してステップアップできる居場所	6,584,290円
NPO法人全国福祉理美容師養成協会	愛知県 日進市	病気の親を持つ子どもたちや困窮家庭を中心とした体験機会の提供と居場所づくり	7,482,260円
NPO法人子ども&まちネット	愛知県 名古屋市	地域で支え合う！子ども・若者の居場所「ほうかご子まち」機能強化事業	6,784,200円
一般社団法人トリナス	静岡県 焼津市	不登校児童及び放課後のこどもの包括的な居場所モデルの構築	6,923,810円

③ 生きづらさを抱える人の支援事業

7年度目となる水谷潤平教育基金(愛称)への寄付金を基に、困難を抱える子どもたちの支援活動をしているNPO法人全国こども福祉センター、NPO法人あいち惟の森、子どもセンター「パオ」の3団体に助成した。

水谷氏から寄付金：50,000円 助成金：3団体計40,000円

④ かなめびと応援プロジェクト

2024年度から2026年度まで休眠預金活用_活動支援団体事業の助成を受けて実施される本事業について、事業主体の特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズから一部事業の委託を受けて実施した。組織コアスタッフの人材育成研修等の非資金的支援を行うもので、2025年度は11月25日までに7団体に対し、民間公益活動団体の組織基盤強化の取り組みを支援した。

受託料：1,513,324 円

⑤ 過年度終了助成事業の精算

2024年度をもって終了した休眠預金活用_草の根活動2021「チームによる支援活動の広域展開（2021.11～2025.3）」について、2024年5月に一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）に対し事業完了報告・精算報告を行い、助成金額を確定・精算した。

休眠預金助成金：総額 145,387,601円

実行団体への助成金：4チームへ総額 100,109,854円

(2) 将来の暮らしに関わる社会課題への対応を支援

① 南海トラフ地震等大規模災害に備えた民間支援組織への支援事業

大災害発生時に中部圏の民間支援組織が連携し効果的に支援活動するための事業を企画し、一般財団法人日本民間活動連携機構（JANPIA）に対し2025年度から 2028 年度までの助成金を申請したものの採択に至らなかった。本事業を実現するために、南海トラフ支援基金への寄付募集活動を行った。

寄付金：50,000円

② 子どもの起業家精神はぐくみ事業

これからの社会で求められる起業家精神に富む人材の育成のため、子どもの起業家精神と社会貢献意識を育む支援活動を行った。鵜飼宏成名古屋市立大学教授の指導のもと、寄付金収入を基に、2か年目となる2025年度は中部圏の小学生を対象に次の事業を実施。

寄付金：50,000円

開催日（場所）	事項	内容	参加者
7月20日（日） （東海ろうきん会議室）	課題発見ワークショップ	1年間の最初のステップになる講座を開催。	小学生13名 保護者11名
7月20日から	エントリー募集	作りたい商品・サービスのアイデアを募集	1チーム3名の応募
9月5日（金） （財団事務室）	選定会議	3名の審査員により1チームを選定。賞金（材料費）1万円。	
9月21日（日） （東海ろうきん会議室）	カイゼンワークショップ	第2ステップとして、アイデアの改善に取り組むワーク。	小学生2名 保護者・家族3名、見学3名

(第1号議案)

(3) 法人運営

〈1〉評議員・役員の改選（2025年6月）

評議員は4名新任（4名退任）し、6名重任の計10名

理事は全員（10名）重任、監事も全員（3名）重任。

〈2〉会議

① 評議員会

- ・ 2025年6月3日（決議の省略）定時評議員会

「2024年度事業報告及び決算報告（監査報告を含む）の承認」及び「理事及び監事の選任」について、評議員10名（全員）が同意。

報告事項：2025年度常勤理事の役員報酬額

- ・ 2025年7月28日（オンライン併用）臨時評議員会

出席者：評議員 8 名（全10）、理事長はじめ 5 名の理事

「公益認定申請と定款変更」を承認。

- ・ 2025年11月11日（決議の省略）臨時評議員会

「定款の変更」について、評議員10名（全員）が同意。

② 理事会

- ・ 2025年5月29日（オンライン併用）第1回理事会

出席者：理事9名（全10名）、監事1名（全3名）

「2024 年度事業報告・決算報告案（監査報告を含む）」、「定款変更案」、「任期満了に伴う役員の選任案」、「2025 年度定時評議員会の招集」、「顧問・政策委員の選任」及び「休眠預金_資金分配団体の申請」を決議。

報告事項：理事長及び業務執行理事の職務執行状況に関する報告（2024年度下期）、評議員選定委員会開催結果、資金繰り表

(第1号議案)

- ・ 2025年6月12日（決議の省略）第2回理事会

「理事長の選定」、「業務執行理事の選定」及び「役員報酬」について、理事10名（全員）が同意し、監事3名（全3名）が確認。

- ・ 2025年9月1日（決議の省略）臨時理事会

「2025年度収支予算書の修正」について、理事10名（全員）が同意し、監事3名（全3名）が確認。

- ・ 2025年11月6日（決議の省略）臨時理事会

「定款及び評議員会規則の変更案」及び「事務局規程の変更」について、理事10名（全員）が同意し、監事3名（全3名）が確認。

- ・ 2025年11月17日（オンライン併用）第3回理事会

出席者：理事9名（全10名）、監事2名（全3名）

「休眠預金_2025 災害支援事業2 次募集への申請」、「生きづらさを抱える人支援事業のうち、2025 年度ハルカ基金【愛称】の審査会議等」及び「本年度12 月期職員賞与の支給」について承認。

報告事項：事業の進捗状況、理事長及び業務執行理事の職務執行状況に関する報告

（2025年度上期）、公益認定申請に係る定款の変更、資金繰り表

③ 評議員選定会議

- ・ 2025年5月29日（オンライン併用） 評議員選定会議

外部委員2名、評議員1名、監事1名、事務局員1名で構成する評議員選定会議を開催し、2025年6月改選の評議員10名を選定した。

事務局会議（原則、週1回開催）

業務執行理事と全事務局員で事業の進捗を共有し、課題、取組方法などを議論。

202511月25日までに25回開催。

2. 公益財団法人としての事業（2025年11月26日から 2026年3月31日まで）

公益目的事業 1：地域公益活動支援事業

地域の寄付金・助成金等を活用し、民間の公益活動に対して資金支援（人材育成等の伴走支援を含む）を行い、安心して暮らせる地域社会の実現を目指す。

社会的弱者（子ども・若者・外国ルーツの人々等）や地域、及び災害対策や子どもの社会貢献意識育成など将来の社会課題に対応する活動への助成を行う。

（1）困難を抱える人・地域への支援

① 地域コミュニティの発展事業

2023年度から2026年度までの助成金による休眠預金活用_草の根活動2023「地方都市・農山村におけるコミュニティの持続発展事業」を実施した。本年度は2023年度に選定された3チーム11団体に対し、3年間の最終年となる2026年度に向けて、「中間評価」を踏まえた事業計画・資金計画のブラッシュアップなど伴走支援した。

休眠預金助成金：14,510,153 円

実行団体・・・3チーム、計 11 団体

実行団体名	所在地	事業名	助成額
NPO法人 えんまる 現 1) (社福) 湖会 現 2) (N) 信濃あすなろ会	長野県 長野市	コミュニティプラットフォームよるつながり支援事業	－円 (前期中に交付済)
認定NPO法人 人と動物の共生センター 現 1) (一社) 岐阜県動物愛護ネットワーク会議 現 2) (一社) サステナブル・サポート 現 3) (N) 出逢いの森 現 4) (N) はみんぐアニマル	岐阜県内	生活困窮者ペット飼育問題を支える、コミュニティプラットフォーム	5, 006, 500円
NPO法人飛騨高山わらべうたの会 現 1) (株) HIDA NET 現 2) おやおやの会	岐阜県 高山市 飛騨市 下呂市 白川村	誰一人取り残さない！オール飛騨で地域ぐるみの子育て支援環境を！	4, 240, 100円

② 子ども/若者など社会的弱者への支援事業

2024年度から2027年度までの助成金による休眠預金活用_草の根活動2024「子ども/若者の居場所機能強化事業」を実施した。本年度は2024年度に選定された5つの民間公益活動団体に対し、中間年である2026年度の事業計画・資金計画のブラッシュアップな

(第1号議案)

ど、着実な事業進展に向けて伴走支援した。

休眠預金助成金：5,494,872円

実行団体・・・5団体

実行団体名	所在地	事業名	助成額
学校法人ムンド・デ・アレグリア学校	静岡県 浜松市	スポーツで心と体の居場所作り	— (各団体とも 前期に交付済み)
NPO法人リネーブル・若者セーフティネット	愛知県 安城市	若者が安心してステップアップできる居場所	
NPO法人全国福祉理美容師養成協会	愛知県 日進市	病気の親を持つ子どもたちや困窮家庭を中心とした体験機会の提供と居場所づくり	
NPO法人子ども&まちネット	愛知県 名古屋市	地域で支え合う！子ども・若者の居場所「ほうかご子まち」機能強化事業	
一般社団法人トリナス	静岡県 焼津市	不登校児童及び放課後のこどもの包括的な居場所モデルの構築	

③ 生きづらさを抱える人の支援事業＊

6年度目となるハルカ基金(愛称)への寄付金を基に、教育機会に恵まれない子どもたちへ学習支援活動や、地地域資源を活用した障がい者就労支援活動を選出し助成金を交付した。

寄付金：一般財団法人愛知県労働者福祉基金協会から450,000円

団体名	活動概要	所在地	助成金
NPO法人にじなみCLUB	尾州生地を活用しての障がい者の自立のための就労支援活動	一宮市	各20万円
NPO法人東海つばめ学習会	恵まれない子どもたちへ学習支援活動をボランティアで展開。	春日井市	

④ かなめびと応援プロジェクト＊

休眠預金活用_活動支援団体事業の助成を受けて実施されている本事業について、事業主体の特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズから一部事業の委託を受けて、2025年11月26日以降は6団体に対し、組織基盤強化の取り組みを支援した。

受託料： 1,199,176 円

(2) 将来の暮らしに関わる社会課題への対応を支援

① 南海トラフ地震等大規模災害に備えた民間支援組織への支援事業

(第1号議案)

大災害発生時に中部圏の民間支援組織が連携し効果的に活動できるための事業が必要であるとの認識のもと、2026年度当初に行われる一般財団法人日本民間活動連携機構（JANPIA）の公募に申請するための事業企画を行うとともに、南海トラフ支援基金への寄付募集活動をホームページを通じて行った。

寄付金：40,000円

② 起業家精神はぐくみ活動への支援事業

これからの社会で求められる自律型で起業家精神に富む人材の育成のため、子どもの起業家精神と社会貢献意識を育む支援活動を行った。前期には、寄付金と参加者の募集をホームページで行うとともに、起業家精神教育専門家らによる選定委員会で助成対象の小学生1グループを選考していたが、今期の12月にはその成果発表を行った。

寄付金：265,000円

開催日（場所）	事項	内容	参加者
12月21日（日） （名古屋市立大学）	キッズ起業家 EXP02025	高校生のアイディアコンテストにゲスト出演し、小学生による成果発表と表彰式	小学生6名 保護者ほか7名
2月7日（土） （名古屋市政資料館）	ねこ店長の経営学	小学生が遊びながらお店の仕組みが分かる経営体験ゲーム	小学生18名 保護者ほか14名

(3) 寄付募集について

①共創寄付金

寄付者の方々と本財団が、支援対象（地域、分野等）とする民間公益活動や、支援方法などについて、相談・対話を重ねながら事業を創り上げるもの。

寄付金：450,000円

②共感寄付金

本財団が行う特定の事業に、いいね！と賛同・共感してご寄付いただくもの。

寄付金：305,000円

③本財団応援寄付金

本財団の活動全般を応援いただくもの。民間公益活動支援及びこれを支える組織運営に役立てる。

寄付金：1,570,000円

①②③ともにホームページなどで募集した。

*の事業は、公益目的事業が効果的に実施されるための付随的事業として実施した。

(第1号議案)

(3) 法人運営

〈1〉会議

① 評議員会

- ・2026年1月19日（決議の省略）臨時評議員会

「公益認定に伴う規程類の改定について」評議員10名（全員）が同意。

② 理事会

- ・2026年1月9日（オンライン併用）第4回理事会

出席者：理事8名（全10名）、監事2名（全3名）

「公益認定後の事業展開と寄付募集活動」及び「公益認定に伴う規程類の改定」について
決議。

報告事項：資金繰り表

- ・2026年3月23日（オンライン併用）第5回理事会

出席者：理事9名（全10名）、監事2名（全3名）

「2026 年度事業計画等」「経理規程の一部改正」及び「公益認定後のあり方検討状況と
記念シンポジウム開催案」について決議。

報告事項：休眠預金事業の申請結果と2026年度の方針、事業の進捗状況、理事長及び

業務執行理事の職務執行状況に関する報告、資金繰り表

③ 事務局会議（原則、週1回開催）

業務執行理事と全事務局員で事業の進捗を共有し、課題、取組方法などを議論。

2025年11月26日以降、14回開催。

(4) 法人の運営体制の充実に図るための取組

(第1号議案)

- ・ 2025年度コンプライアンス委員会で協議

開催日：2026年3月31日（オンライン併用）

出席者：理事（委員長）、弁護士1名、会計士1名、事務局員2名の5名の委員。

協議内容：公益財団法人として社会的信頼を損なわないために必要なリスク対応について、利益相反、規程の実効性、組織運営などの項目に関して意見交換した。

< 附属明細 >

事業報告の内容を補足する重要な事項はない。